

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
腎細胞癌 ペムブロリズマブ術後補助療法(3週毎)		21日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
d1	① 生理食塩水50mL(プライミング用) ② 生理食塩水50mL + キイトルーダ200mg 最終濃度は1~10mg/mLとする。 0.2~5 μ mインラインフィルター使用。 調製後6時間以内に投与完了。 ③ 生理食塩水50mL(フラッシュ用)		
コメント	診療科登録制(リスト参照) 投与期間は12カ月間までとする。		

プロトコールに関する解説
本療法は、再発リスクが高い腎癌術後の補助療法として、局所再発や遠隔転移などが出現する確率を下げることにについて治療効果が示されている治療法です。過去には分子標的治療薬を用いた術後補助療法が研究されていましたが、いずれもはっきりとした結果は出ませんでした。臨床試験では、キイトルーダ投与群が、非投与群と比べて、優れた再発率の減少効果が示されたことにより、本邦で初めての術後補助療法として保険承認されました。キイトルーダは免疫チェックポイント阻害剤であり、グレード3以上の副作用は32%で、倦怠感、下痢、下垂体炎などが多く認められました。副作用が強い場合は、休薬などの調整が必要になることがあります。